

ソラマメ種
特性調査マニュアル



(初版)

令和8年3月31日 制定

国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構

種苗管理センター

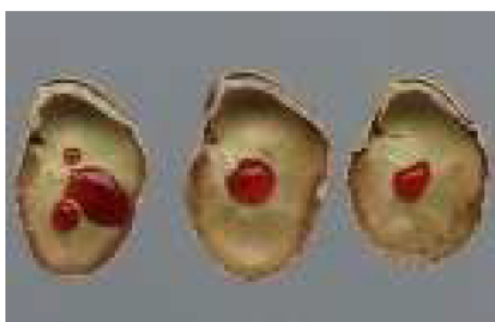
特性表

V I P S No.	形 質 番 号	U P O V No.	記 号	形 質 (Characteristics)		定 義	調 査 方 法	階 級	状 態 (State)		標 準 品 種 (Ex.Var.)	備 考
				(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
1	1	1	QL (+)	種子のタンニンの有無	Seed : tannin	種皮のタンニンの有無	観察	1 9	無 有	absent present		

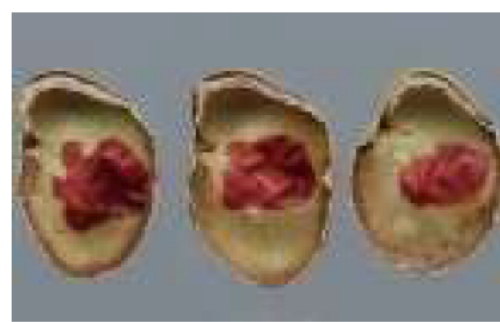
- 調査時期
収穫した種子で調査する（受領種子での評価でも可能であるが、種子消毒された種子が供試される可能性があるため）。
- 調査方法
種皮のタンニン含有は、花の翼弁のメラニン斑点と相関関係がある。そのため、タンニンの含有については翼弁のメラニン斑点と種皮のタンニン含有の両方を調査する必要がある。
種皮のタンニンの有無は、種子から剥ぎ取った種皮に試薬を1、2滴垂らして調べるが、タンニンがあれば1、2分で鮮明な桃色になる。
(試薬は、50%エチルアルコールと1%のバニリンを溶かし込んだ濃塩酸を1：1で混合し、33～37%に濃縮して使用する。)



処理前の種皮



処理直後の種皮



処理後の種皮



比較写真構図(例)

乾燥種子から胚乳部分を取り除いた種皮の内側が上になるように各品種3枚ずつ並べたもの。

試薬滴下直後の様子。すでに滴下部位が染色されているが、試薬も水滴として種皮の上に乗っているためまだ判別しづらい。

ある程度時間が経過すると試薬が乾燥する。この状態でも滴下部位に桃色の着色が残っているかを観察する。

左：1.無 右：9.有

V I P S No.	形 質 番 号	U P O V No.	記 号	形 質 (Characteristics)		定 義	調 査 方 法	階 級	状 態 (State)		標 準 品 種 (Ex.Var.)	備 考
				(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
2	2	2 (*)	QL G	伸育型	Plant : growth type	伸育型の別 開花期に調査	観察	1 2	有限伸育型 中間型	determinate indeterminate		

●調査時期

開花初期から開花終期まで（開花期間）を通して評価する。

●調査方法

開花期間中に茎の伸長が止まる場合を「1.有限伸育型」、伸長が止まらない場合「2.中間型」とする。

写真なし



主茎の第5花序の開花期付近

1
有限伸育型
determinate



主茎の第7~8花序の開花期付近

2
中間型
indeterminate

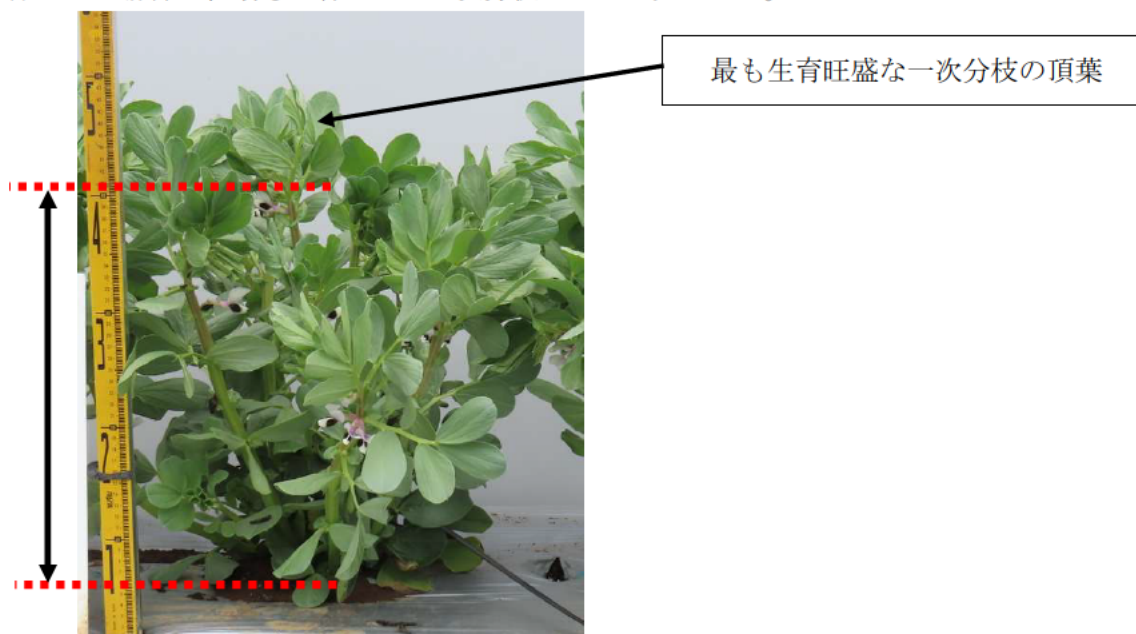
V I P S No.	形 質 番 号	U P O V No.	記 号	形 質 (Characteristics)		定 義	調 査 方 法	階 級	状 態 (State)		標 準 品 種 (Ex.Var.)	備 考
				(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
3	3	3 (*)	QN	草丈	Plant : height	開花期の主茎先端までの高さ	測定 cm	1 3 5 7 9	極低 低 中 高 極高	very short short medium tall very tall	房州早生 陵西一寸 讃岐長莢	

●調査時期

主茎の第5花序の開花期に測定する。

●調査方法

主茎または最も生育旺盛な一次分枝の地際から頂葉を除いた茎先端部（主茎生長点）までの高さを測定する。
冬季に主茎の生長が停止した場合は、最も生育旺盛な一次分枝を主茎と見立てる。



V I P S No.	形 質 番 号	U P O V No.	記 号	形 質 (Characteristics)		定 義	調 査 方 法	階 級	状 態 (State)		標 準 品 種 (Ex.Var.)	備 考
				(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
4	4	4 (*)	QN	茎の数	Plant : number of stems (including tillers more than half the length of the main stem)	開花期の主茎の半分以上の長さのある分枝を含む茎の数	測定 本	3 5 7	少 中 多	few medium many	大島在来 陵西一寸 房州早生	

●調査時期

主茎の第5花序の開花期に測定する。

●調査方法

主茎または最も生育旺盛な一次分枝の半分以上の長さのある分枝数を測定する。
冬季に主茎の生長が停止した場合は、最も生育旺盛な一次分枝を主茎と見立てる。



最も生育旺盛な一次分枝

茎の数に含める分枝

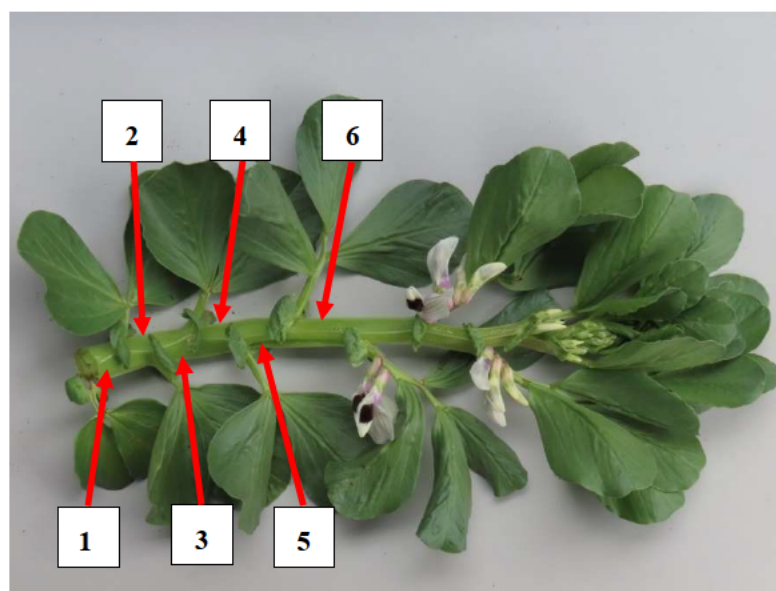
V I P S No.	形 質 番 号	U P O V No.	記 号	形 質 (Characteristics)		定 義	調 査 方 法	階 級	状 態 (State)		標 準 品 種 (Ex.Var.)	備 考
				(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
5	5	5	QN	主茎の地際から最も低い開花節までの節数	Stem : number of nodes up to and including first flowering node	主茎の地際から最も低い開花節までの節数（最下開花節を含む）	測定	3 5 7	少 中 多	few medium many		

●調査時期

主茎の第1花序の開花期に測定する。

●調査方法

主茎または最も生育旺盛な一次分枝の地際から最も低い開花節までの節数を測定する（最下開花節を含む）。
冬季に主茎の生長が停止した場合は、最も生育旺盛な一次分枝を主茎と見立てる。



V I P S No.	形 質 番 号	U P O V No.	記 号	形 質 (Characteristics)		定 義	調 査 方 法	階 級	状 態 (State)		標 準 品 種 (Ex.Var.)	備 考
				(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
6	6	6	QL	茎のアントシアニン着色の有無	Stem : anthocyanin coloration	茎のアントシアニン着色の有無	観察	1 9	無 有	absent present		

●調査時期

主茎の第5花序の開花期に評価する。

●調査方法

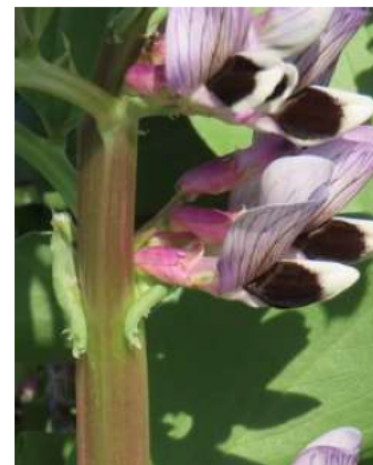
分枝を含む株全体を観察する。少しでもアントシアニンの着色があれば「9.有」とし、濃淡は考慮しない。
冬季に主茎の生長が停止した場合は、最も生育旺盛な一次分枝を主茎と見立てる。



1
無
absent



9
有
present



V I P S No.	形 質 番 号	U P O V No.	記 号	形 質 (Characteristics)		定 義	調 査 方 法	階 級	状 態 (State)		標 準 品 種 (Ex.Var.)	備 考
				(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
7	7	7	QL	葉の緑色の灰色化の有無	Foliage : greyish hue of green color	緑を基本色とした葉における灰色相の有無	観察	1 9	無 有	absent present		

●調査時期

主茎の第5花序の開花期に評価する。

●調査方法

葉に灰色相化があれば「9.有」とする。

冬季に主茎の生長が停止した場合は、最も生育旺盛な一次分枝を主茎と見立てる。



写真なし

1
無
absent

9
有
present

V I P S No.	形 質 番 号	U P O V No.	記 号	形 質 (Characteristics)		定 義	調 査 方 法	階 級	状 態 (State)		標 準 品 種 (Ex.Var.)	備 考
				(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
8	8	8	QN	葉の緑色の濃淡	Foliage : intensity of green color	開花期の葉の緑色の濃さ	観察	3 5 7	淡 中 濃	light medium dark	河内一寸 芭蕉成 大島	

●調査時期

主茎の第5花序の開花期に評価する。

●調査方法

標準品種を指標に相対評価する。必要に応じてRHSカラーチャート番号を控えて評価の参考とする。
冬季に主茎の生長が停止した場合は、最も生育旺盛な一次分枝を主茎と見立てる。

V I P S No.	形 質 番 号	U P O V No.	記 号	形 質 (Characteristics)		定 義	調 査 方 法	階 級	状 態 (State)		標 準 品 種 (Ex.Var.)	備 考
				(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
9	9	9 (*)	QN	小葉の長さ	Leaflet : length (basal pair of leaflet at secondary node)	第2開花節の複葉基部の 小葉の長さ	測定 mm	3 5 7	短 中 長	short medium long		

●調査時期

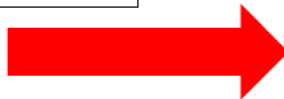
主茎の第5花序の開花期に測定する。

●調査方法

主茎の第2開花節から展開する複葉の中で最も基部側に着生する小葉の最大長を測定する。丸まっている場合は軽く伸ばして測定する。
冬季に主茎の生長が停止した場合は、最も生育旺盛な一次分枝を主茎と見立てる。



調査対象



主茎の第2開花節から展開する複葉

V I P S No.	形 質 番 号	U P O V No.	記 号	形 質 (Characteristics)		定 義	調 査 方 法	階 級	状 態 (State)		標 準 品 種 (Ex.Var.)	備 考
				(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
10	10	10 (*)	QN	小葉の幅	Leaflet : width(basal pair of leaflet at secondary node)	複葉基部の小葉の最大幅	測定 mm	3 5 7	狭 中 広	narrow medium broad		

●調査時期

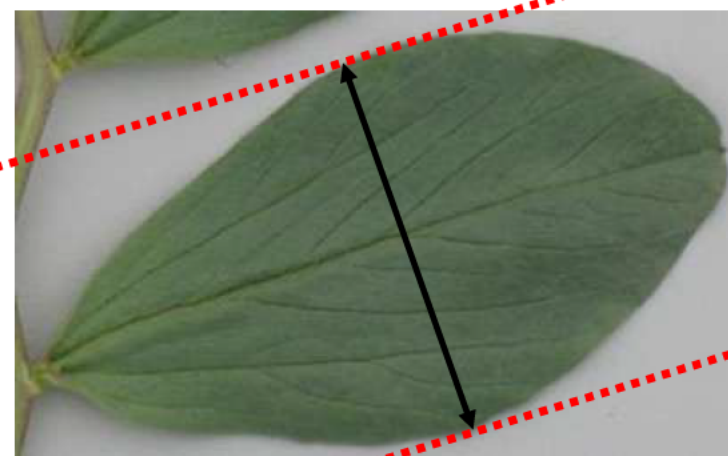
主茎の第5花序の開花期に測定する。

●調査方法

主茎の第2開花節から展開する複葉の中で最も基部側に着生する小葉の最大幅を測定する。丸まっている場合は軽く伸ばして測定する。
冬季に主茎の生長が停止した場合は、最も生育旺盛な一次分枝を主茎と見立てる。



調査対象



主茎の第2開花節から展開する複葉

V I P S No.	形 質 番 号	U P O V No.	記 号	形 質 (Characteristics)		定 義	調 査 方 法	階 級	状 態 (State)		標 準 品 種 (Ex.Var.)	備 考
				(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
11	11	11 (*)	QN	小葉の最大幅の位置	Leaflet : position of maximum width (basal pair of leaflet at secondary node)	複葉基部の小葉の最も幅の広い場所	観察	1 2 3	先端部 中央部 基部	towards tip at middle towards base		

●調査時期

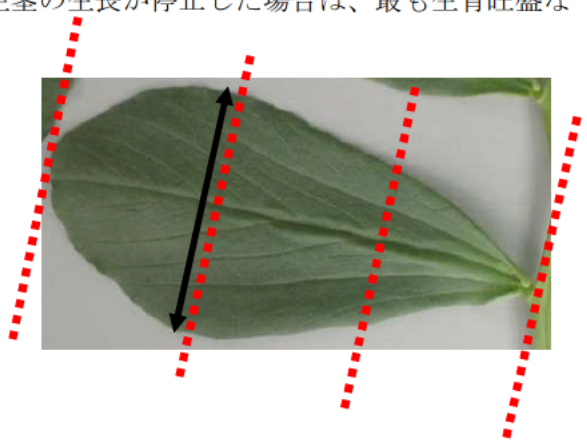
主茎の第5花序の開花期に評価する。

●調査方法

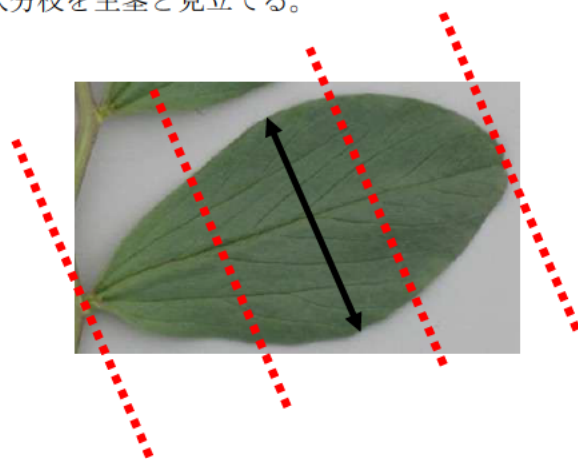
主茎の第2開花節から展開する複葉の中で最も基部側に着生する小葉で評価する。

小葉を長さで3分割し、最大幅部がどの位置に含まれるかを判断する。

冬季に主茎の生長が停止した場合は、最も生育旺盛な一次分枝を主茎と見立てる。



1
先端部
towards tip



2
中央部
at middle

写真なし

3
基部
towards base

V I P S No.	形 質 番 号	U P O V No.	記 号	形 質 (Characteristics)		定 義	調 査 方 法	階 級	状 態 (State)		標 準 品 種 (Ex.Var.)	備 考
				(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
12	12	12	QN	頂小葉の主脈に沿った曲折の強弱	Leaflet : folding (along the main vein, terminal pair of leaflets)	頂小葉の主脈に沿った折れ曲がりの程度	観察	3 5 7	弱 中 強	weak medium strong		

●調査時期

主茎の第5花序の開花期に評価する。

●調査方法

主茎の第2花序付近の正常に生育した頂小葉で調査する。

主脈に対して葉が水平であれば「1.極弱」と評価し、主脈に対して葉が接するようであれば「9.極強」とする。

冬季に主茎の生長が停止した場合は、最も生育旺盛な一次分枝を主茎と見立てる。



主茎の第2開花節から展開する複葉

写真なし

写真なし

写真なし

3
弱
weak

5
中
medium

7
強
strong

V I P S No.	形 質 番 号	U P O V No.	記 号	形 質 (Characteristics)		定 義	調 査 方 法	階 級	状 態 (State)		標 準 品 種 (Ex.Var.)	備 考
				(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
13	13	13 (*)	QN	花序の花の数	Raceme : number of flowers	主茎の下から2番目の花 序の花数	測定	3 5 7	少 中 多	few medium many		

●調査時期

主茎の第5花序の開花期に測定する。

●調査方法

基本は主茎の第2開花節を調査対象とするが、第5開花節までは可とする。典型的な開花節に着生する花の数を計測する。
冬季に主茎の生長が停止した場合は、最も生育旺盛な一次分枝を主茎と見立てる。



第2開花節

開花期の主茎の第1~3開花節部分を切り出したもの



4個

5個

V I P S No.	形 質 番 号	U P O V No.	記 号	形 質 (Characteristics)		定 義	調 査 方 法	階 級	状 態 (State)		標 準 品 種 (Ex.Var.)	備 考
				(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
14	14	14 (*)	QN	開花期	Time of flowering (50% of the plants with at least one flower)	開花の早晚 (50%の株が 開花始めになった日)	観察	3 5 7	早 中 晩	early medium late	静岡極早生 陵西一寸 河内一寸	

●調査時期

主茎の第1花序の開花期に評価する。

●調査方法

株内の第1花が咲いた日を開花始めとして記録し、区内の50%の株が開花始めになった日で評価する。
冬季に主茎の生長が停止した場合は、最も生育旺盛な一次分枝を主茎と見立てる。

V I P S No.	形 質 番 号	U P O V No.	記 号	形 質 (Characteristics)		定 義	調 査 方 法	階 級	状 態 (State)		標 準 品 種 (Ex.Var.)	備 考
				(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
15	15	15	QN (+)	花の長さ	Flower : length	第2開花節の花の旗弁を 伸ばした長さ	測定 cm	3 5 7	短 中 長	short medium long		

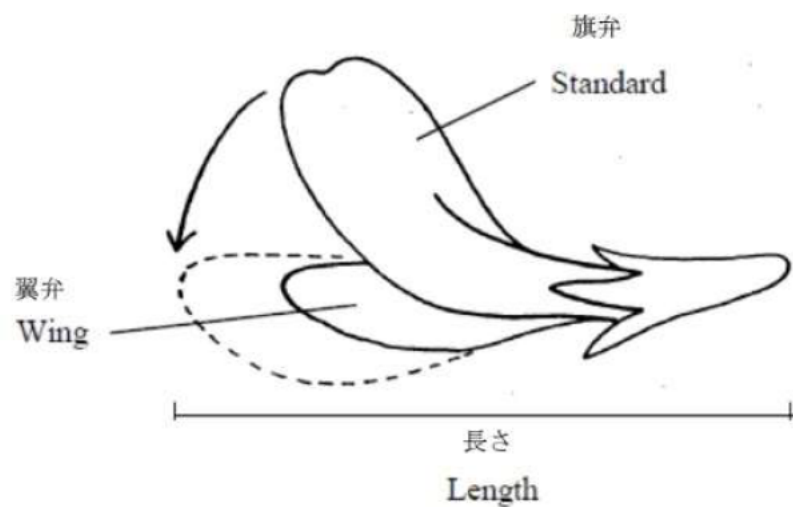
●調査時期

主茎の第5花序の開花期に測定する。

●調査方法

基本は主茎の第2開花節を調査対象とするが、第5開花節までは可とする。典型的な開花節に着生する花のがくを含めた最大長を測定する。旗弁が反っている場合は軽く伸ばして測定する。

冬季に主茎の生長が停止した場合は、最も生育旺盛な一次分枝を主茎と見立てる。



※審査基準より引用

V I P S No.	形 質 番 号	U P O V No.	記 号	形 質 (Characteristics)		定 義	調 査 方 法	階 級	状 態 (State)		標 準 品 種 (Ex.Var.)	備 考
				(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
16	16	16 (*)	QL G	翼弁のメラニン 斑点の有無	Wing : melanin spot	翼弁のメラニン斑点の有 無	観 察	1 9	無 有	absent present		

●調査時期

主茎の第5花序の開花期に評価する。

●調査方法

翼弁にアントシアニン以外（紫以外）の着色があれば「9.有」とする。

冬季に主茎の生長が停止した場合は、最も生育旺盛な一次分枝を主茎と見立てる。



1
無
absent



9
有
present

V I P S No.	形 質 番 号	U P O V No.	記 号	形 質 (Characteristics)		定 義	調 査 方 法	階 級	状 態 (State)		標 準 品 種 (Ex.Var.)	備 考
				(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
17	17	17 (*)	PQ	翼弁のメラニン 斑点の色	Wing : color of melanin spot	翼弁のメラニン斑点の色	観察	1 2 3	緑黄 褐 黒	greenish yellow brown black		

●調査時期

主茎の第5花序の開花期に評価する。

●調査方法

形質16で評価した着色がどの色に該当するか判断する。必要に応じてRHSカラーチャート番号を控えて評価の参考とする。
冬季に主茎の生長が停止した場合は、最も生育旺盛な一次分枝を主茎と見立てる。

写真なし

写真なし



1

緑黄

greenish yellow

2

褐

brown

3

黒

black

V I P S No.	形 質 番 号	U P O V No.	記 号	形 質 (Characteristics)		定 義	調 査 方 法	階 級	状 態 (State)		標 準 品 種 (Ex.Var.)	備 考
				(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
18	18	18	QL	旗弁のメラニン 斑点の有無	Standard : melanin spot	旗弁のメラニン斑点の有 無	観察	1 9	無 有	absent present		

●調査時期

主茎の第5花序の開花期に評価する。

●調査方法

翼弁を取り除いて観察する。旗弁にアントシアニン以外の色があれば「9.有」とする。脈のみに着色があるものもメラニン斑点有とする。冬季に主茎の生長が停止した場合は、最も生育旺盛な一次分枝を主茎と見立てる。



1
無
absent



9
有
present

V I P S No.	形 質 番 号	U P O V No.	記 号	形 質 (Characteristics)		定 義	調 査 方 法	階 級	状 態 (State)		標 準 品 種 (Ex.Var.)	備 考
				(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
19	19	19 (*)	QL	旗弁のアントシアニン着色の有無	Standard : anthocyanin coloration	旗弁の内側のアントシアニン着色の有無	観察	1 9	無 有	absent present		

●調査時期

主茎の第5花序の開花期に評価する。

●調査方法

翼弁を取り除いて観察する。旗弁にアントシアニンの着色があれば「9.有」とする。
冬季に主茎の生長が停止した場合は、最も生育旺盛な一次分枝を主茎と見立てる。



1
無
absent



9
有
present

V I P S No.	形 質 番 号	U P O V No.	記 号	形 質 (Characteristics)		定 義	調 査 方 法	階 級	状 態 (State)		標 準 品 種 (Ex.Var.)	備 考
				(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
20	20	20	QN (+)	旗弁のアントシアニン着色部の割合	Standard : extent of anthocyanin coloration	旗弁のアントシアニン着色の面積の大小	観察	3 5 7	小 中 大	small medium large		

●調査時期

主茎の第5花序の開花期に評価する。

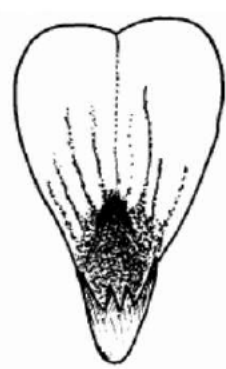
●調査方法

翼弁を取り除いて観察する。着色の濃淡は考慮せず面積のみを評価する。

冬季に主茎の生長が停止した場合は、最も生育旺盛な一次分枝を主茎と見立てる。



3
小
small



5
中
medium



7
大
large

※審査基準より引用

V I P S No.	形 質 番 号	U P O V No.	記 号	形 質 (Characteristics)		定 義	調 査 方 法	階 級	状 態 (State)		標 準 品 種 (Ex.Var.)	備 考
				(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
21	21	21	QN	さやの数	Truss : number of pods	第2開花節の結実さやの伸長が完了したときの房当たりの着きょう数	測定	3 5 7	少 中 多	few medium many	陵西一寸 静岡極早生	

●調査時期

青さや収穫期に測定する。

●調査方法

正常に生育した（着きょうした）茎の第2開花節から第5開花節の間で典型的な3節分の着きょう数を計測し、値を3で割って求める。
下の写真の場合、3節分の着きょう数は下位節から順に2、1、1となるため合計4で、これを3で割って約1.33となる。



収穫期の主茎を切り出したもの
(第1開花節のさやは撮影の都合により除去している)

V I P S No.	形 質 番 号	U P O V No.	記 号	形 質 (Characteristics)		定 義	調 査 方 法	階 級	状 態 (State)		標 準 品 種 (Ex. Var.)	備 考
				(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
22	22	22 (*)	PQ	さやの着生の向き	Pod : attitude	水平軸に対するさやの角度	観察	1 3 5 7 9	立 半立 水平 半下垂 下垂	erect semi-elect horizontal semi-pendulous pendulous	房州早生 陵西一寸 Green Long Pod	

●調査時期

青さや収穫期に評価する。

●調査方法

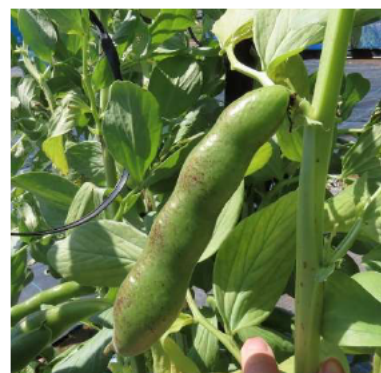
さやが収穫期に達した際の着生の向きについて、水平軸に対する角度で評価する。



3
半立
semi-elect



5
水平
horizontal



7
半下垂
semi-pendulous



比較写真構図 (例)
左 : 5 水平 右 : 7 半下垂

V I P S No.	形 質 番 号	U P O V No.	記 号	形 質 (Characteristics)		定 義	調 査 方 法	階 級	状 態 (State)		標 準 品 種 (Ex.Var.)	備 考
				(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
23	23	23 (*)	QN G	さやの長さ	Pod : length (without beak)	成熟開始期（種子が緑の時）のくちばしを除いたさやの長さ	測定 cm	1 3 5 7 9	極短 短 中 長 極長	very short short medium long very long	静岡極早生 房州早生 陵西一寸 讃岐長莢 Green Long Pod	

●調査時期

青さや収穫期に測定する。

●調査方法

さやのくちばし部分を除いた最大長を測定する。

さやの曲がり強い場合（形質 25 が「5.中」程度以上のもの）は、長い方の縫合線に沿って（下図の場合は下側の赤く描画した部分）測定する。



※審査基準より引用

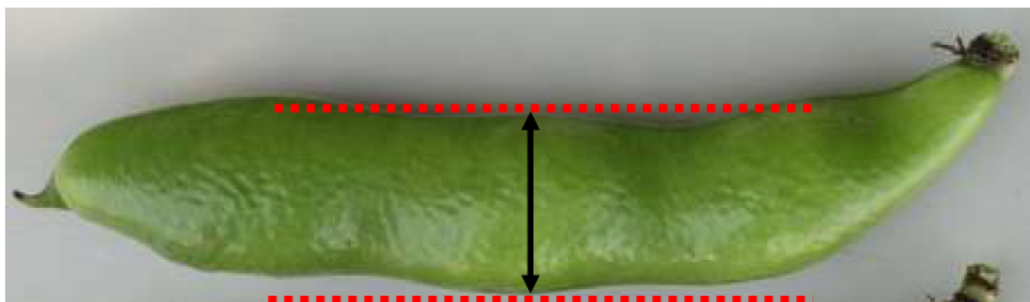
V I P S No.	形 質 番 号	U P O V No.	記 号	形 質 (Characteristics)		定 義	調 査 方 法	階 級	状 態 (State)		標 準 品 種 (Ex.Var.)	備 考
				(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
24	24	24 (*)	QN	さやの幅	Pod : width (from suture to suture)	さやの最広部分の縫合線から縫合線までの距離	測定 cm	1 3 5 7 9	極狭 狭 中 広 極広	very narrow narrow medium broad very broad	静岡極早生 河内一寸	

●調査時期

青さや収穫期に測定する。

●調査方法

さやの最も広い部分の縫合線から縫合線までの距離を測定する。



V I P S No.	形 質 番 号	U P O V No.	記 号	形 質 (Characteristics)		定 義	調 査 方 法	階 級	状 態 (State)		標 準 品 種 (Ex. Var.)	備 考
				(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
25	25	25	QN (+)	さやの曲がりの 強弱	Pod : degree of curvature at green shell stage	青さや収穫期のさやの反 りの程度	観察	1 3 5 7	無又は極弱 弱 中 強	absent or very weak weak medium strong	房州早生 陵西一寸 Green Long Pod	

●調査時期

青さや収穫期に評価する。

●調査方法

基準の図を参考に最も多い割合のもので評価する。

さやの幅の中間部を結んだライン（下図の黒線）の反り具合がどれだけ離れているかで判断する。

写真なし



写真なし

写真なし



※審査基準より引用

1

無又は極弱

absent or very weak

2

かなり弱

3

弱

weak

5

中

medium

7

強

strong

V I P S No.	形 質 番 号	U P O V No.	記 号	形 質 (Characteristics)		定 義	調 査 方 法	階 級	状 態 (State)		標 準 品 種 (Ex.Var.)	備 考
				(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
26	26	26	QN	さやの緑色の濃 淡	Pod : intensity of green color	青さや収穫期のさや表面 の緑色の濃さ	観察	3 5 7	淡 中 濃	light medium dark	Green Long Pod 陵西一寸 河内一寸	

●調査時期

青さや収穫期に評価する。

●調査方法

さや表面の緑色の濃淡を評価する。必要に応じて RHS カラーチャート番号を控えて評価の参考とする。



写真なし

3

淡

light

5

中

medium

7

濃

dark

V I P S No.	形 質 番 号	U P O V No.	記 号	形 質 (Characteristics)		定 義	調 査 方 法	階 級	状 態 (State)		標 準 品 種 (Ex.Var.)	備 考
				(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
27	27	27 (*)	QN	さやの胚珠数	Pod : number of ovules (including seeds)	平均的な大きさのさやの 胚珠数	測定	3 5 7	少 中 多	few medium many	河内一寸 大島在来	

●調査時期

青さや収穫期に測定する。

●調査方法

未肥大のものも含めた、さや内の全胚珠数を計測する。



未肥大の胚珠 (測定対象)

V I P S No.	形 質 番 号	U P O V No.	記 号	形 質 (Characteristics)		定 義	調 査 方 法	階 級	状 態 (State)		標 準 品 種 (Ex.Var.)	備 考
				(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
28	28	29	PQ	乾燥種子の縦断面の形	Dry seed : shape of median longitudinal section	種子を真ん中で左右対称に縦断したときの面の形	観察	1 2 3	狭楕円形 楕円形 広楕円形	narrow elliptic elliptic broad elliptic		

●調査時期

完熟期に評価する。

●調査方法

乾燥種子をハサミ等により縦断し、断面の形（主に縦横比）を評価する。

完熟種子を梅雨前に収穫し、更に乾燥させて7月頃に調査する。

※試験区では、雨で乾燥した種子が水分を吸収し、形の変形等が起こり、正確な評価が出来なくおそれがあるため。(H22 そらまめ現地検討会資料より抜粋)

写真なし



1

狭楕円形
narrow elliptic

縦横比 1.38



2

楕円形
elliptic

1.29



3

広楕円形
broad elliptic

1.17



1.20

V I P S No.	形 質 番 号	U P O V No.	記 号	形 質 (Characteristics)		定 義	調 査 方 法	階 級	状 態 (State)		標 準 品 種 (Ex.Var.)	備 考
				(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
29	29	30	PQ	乾燥種子の横断面の形	Dry seed : shape of cross section	種子を中央で横断したときの面の形	観察	1 2 3	狭楕円形 楕円形 広楕円形	narrow elliptic elliptic broad elliptic		

●調査時期
完熟期に評価する。

●調査方法
乾燥種子をハサミ等により中央で横断し、断面の形（主に縦横比）を評価する。



1

狭楕円形
narrow elliptic



2

楕円形
elliptic

写真なし

3

広楕円形
broad elliptic

写真なし

V I P S No.	形 質 番 号	U P O V No.	記 号	形 質 (Characteristics)		定 義	調 査 方 法	階 級	状 態 (State)		標 準 品 種 (Ex.Var.)	備 考
				(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
30	30	31 (*)	QN (+) G	乾燥種子の重量	Dry seed : weight	さやの中で最も大きい種子の重量	測定 g	1 3 5 7 9	極軽 軽 中 重 極重	very low low medium high very high		

●調査時期
完熟期に測定する。

●調査方法
完熟期に各株から典型的なさやを収穫し、風乾、脱さや後に各さやから最も大きい種子を選び、各区 20 粒分の重量を測定し、1 粒あたりの平均値を求める。

V I P S No.	形 質 番 号	U P O V No.	記 号	形 質 (Characteristics)		定 義	調 査 方 法	階 級	状 態 (State)		標 準 品 種 (Ex.Var.)	備 考
				(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
31	31	32 (*)	PQ G	乾燥種子の種皮 の色	Dry seed : color of testa (immediately after harvest)	完熟収穫直後の種子の種 皮の色	観察	1 2 3 4 5	ベージュ 緑 赤 紫 黒	beige green red violet black		

●調査時期
完熟期に評価する。

●調査方法
完熟種子の種皮表面の最も面積割合の多い色を評価する。



写真なし

写真なし

写真なし

1
ベージュ
beige

2
緑
green

3
赤
red

4
紫
violet

5
黒
black

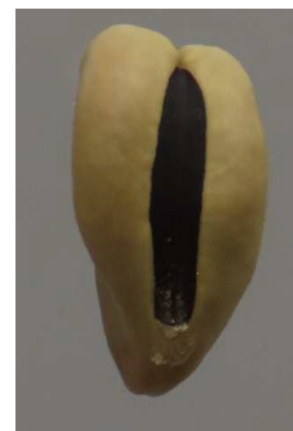
V I P S No.	形 質 番 号	U P O V No.	記 号	形 質 (Characteristics)		定 義	調 査 方 法	階 級	状 態 (State)		標 準 品 種 (Ex.Var.)	備 考
				(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
32	32	33	QLG	乾燥種子のへその着色の有無	Dry seed : pigmentation of hilum	完熟硬化した種子のへその色素沈着の有無	観察	1 9	無 有	absent present		

●調査時期
完熟期に評価する。

●調査方法
乾燥種子のへそ部分に色素の沈着（主に黒色）が見られるかどうかを判定する。色素の沈着が見られない場合、へそ部分は種皮と同色となる。



1
無
absent



9
有
present

V I P S No.	形 質 番 号	U P O V No.	記 号	形 質 (Characteristics)		定 義	調 査 方 法	階 級	状 態 (State)		標 準 品 種 (Ex.Var.)	備 考
				(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
33	33	34	QN	さやの発育の早 晩	Time of full development of pod (first fully developed pods)	株の中で最も早いさやが 発育を完了した日の早晩	観察	3 5 7	早 中 晩	early medium late		

- 調査時期
青さや収穫期前から収穫期にかけて評価する。
- 調査方法
株内で最も生育の早いさやが発育を完了した日を収穫始期として記録し、区内の50%の株が収穫始期になった日で評価する。
※青実収穫期は種子のへそ部の変色（黒色化）初期とし、さやの縫合線の黒緑化した時期を目安とするが、さやの垂れ具合、太り具合も参考に判断する。また、着
さや節は第2着さや節から第5着さや節ぐらいを目安にする。(H22 そらまめ現地検討会資料より抜粋)